

科目名	情報システム（中級編）
担当講師	宮川 裕之
分類	必修
授業時間数（時間）	7.5
授業形態	対面
授業の概要	情報技術の進歩も他の産業の興隆と同様にモノの開発からマーケット指向を経て価値創造の段階へと変化していることについて振り返ります。併せて、それぞれの段階における情報人材の能力について触れます。DXの本質である価値創造につながる情報の仕組みを構想し実現していくために求められる専門性について考察するとともに受講者一人ひとりのキャリアアップに必要な学びのプランが立てられることを目標としています。
特色とメリット	ADPISAの学びのベースでもある「広義の情報システム」について扱うことが特徴です。すぐに理解できる知識や技術はすぐに陳腐化してしまいます。基本的な考え方や近未来に向けたISアーキテクトのマインドセットを持つことで各人の置かれている状況の違いに応じた対応力の醸成が期待できます。
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報技術の発展・普及と時代が求める専門性・人材像との関連性を説明できるようになる</li> <li>・自己研鑽の学びの計画を立てられるようになる</li> <li>・世の中の現象（問題）を情報システムとして捉え、問題を把握し、情報視点での改善行動につなげる力とは何かについて理解する</li> <li>・ISアーキテクトのマインドセットを身につけ、学びの持続性と応用力を醸成させる</li> </ul>
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーション</li> <li>・情報技術の進化と求められる人材像の変遷</li> <li>・情報専門領域の中のIS領域</li> <li>・情報システムの視点で捉える</li> <li>・機能の視点で捉える</li> <li>・広義の情報システムデザイン</li> <li>・systemicとsystematic</li> <li>・まとめ、気づきシート記入</li> </ul>
受講の前提条件	「情報システム学」についての理解は前提としません。業務でのIT活用あるいはシステム実現の業務経験があることを前提にしています。
事前学習	以下に示した用語について「ISデジタル辞典」（ <a href="https://ipsj-is.jp/isdic/">https://ipsj-is.jp/isdic/</a> ）を利用して、おおよそどんなことを意味しているのかについて可能な範囲で頭に入れておいてください。 情報システム、情報システムの基本計画、情報システムデザイン、情報システム問題の形成、問題形成、人的機構と機械的機構、情報システム部門の役割
事後学習	各人の業務の中で本授業での学びがどのように応用（適用）できるのか考える中で生まれてくるアイデアや疑問を整理しておいてください。この後に続く講義の中でつながりを考える上での準備となることを期待しています。
参考文献・オンライン科目	以下の書籍は授業で利用する教科書としてではなく参考書として示すものです。 情報システム学へのいざないー人間活動と情報技術の調和を求めて、浦昭二他、培風館、2008（本学図書館所蔵）